無所属
茨木市議会議員 米川（よねかわ） 勝利（しょうり）の議会ニュース

つながりだより Vol:26

2020年3月30日

発行責任者：米川勝利
茨木市桑田町 15-29-205
TEL：070-5265-4371
FAX：072-628-3986
メール：info@s-yonekawa.net

3月議会報告

3月3日～19日の3月議会において、市民会館跡地エリア整備を含む一般会計予算が賛成多数で議決されました（米川も賛成）。南グラウンドに建設されるこの新施設へは、分館である中条図書館、子育て支援総合センター、こども健康センター、プラネタリウム、市民活動センターが移転し、ホール等と一体の施設になります。私は今回、本会議で新施設に関する質問をしました。

米川（よねかわ） 勝利（しょうり）プロフィール

- ◇ 1986年、茨木生まれ茨木育ち
  めぐみ幼稚園、大池小学校、
  東中学校、茨木高校出身
  同志社大学政策学部卒業
- ◇ 同志社大学大学院
  総合政策科学研究科
  博士前期課程修了
- ◇ 2013年1月
  茨木市議会議員選挙 初当選
- ◇ 2014年9月
  同大学院博士後期課程退学
- ◇ 2017年1月、2期目当選
- ◇ 所属（2020年2月～）
  総務常任委員会
  監査委員

詳しいプロフィールや福井新聞の
インタビュー記事はホームページへ
http://s-yonekawa.net/

質問から明らかになったデータ

既存（旧）施設の年間利用実績

大ホール	195,000
ドリームホール	47,000
中条図書館	**287,000**
プラネタリウム	13,000
子育て支援センター	35,000
こども健康センター	28,000
市民活動センター	23,000
合計	**628,000**

単位：人

新施設に移転する中条図書館の統計　減少傾向

	実登録者数	貸出人数	来館者数
2016年度	13,839	125,962	299,693
2017年度	13,496	121,765	287,184
2018年度	**12,749**	**108,656**	**262,794**

単位：人

※実登録者：全登録者の内、1年に1回以上利用した実人数
貸出人数：延べ人数
来館者数：入口でカウント

茨木市内の全図書館の統計

	実登録者数	貸出人数	来館者数
2016年度	66,755	913,184	1,522,140
2017年度	64,189	899,177	1,553,391
2018年度	**61,078**	**829,199**	**1,482,028**

※来館者数は分室を除く　単位：人
※2018年度は大阪北部地震の影響のため臨時休館あり

**市全体として、
図書館利用者は年々減少。**

米川の質問

新施設における図書館の役割をどう考えているか。

●教育総務部長の答弁

中条図書館の単なる移設とするのでなく、図書館の基本的役割を果たしつつ、新施設が子育て施設、ホール、市民活動センター、プラネタリウムなどと複合施設であることや、広場と一体の整備という性格を最大限に活かし、積極的に他の施設との連携を進め、来られた方が本でつながり、読書でくつろぎ、本を通して育ちが実感できる図書館にしたいと考えている。

●米川の意見・要望

新しい図書館を始めよう
～図書館は市民のために何ができるか

図書館の役割は土台こそ変わらないものの、社会情勢や地域の実情に応じて変化していかなければならない。岩手県紫波町の図書館を視察した際には、**司書が町民のニーズを絶えず把握し、来館者には積極的に挨拶、声かけをし、本、情報、他機関につなぐ**ことをしていると聞いた。これはあまり他の図書館では見られないと思う。

本市において、利用者数想定の約45%が中条図書館利用者であることを踏まえ、当該施設における図書館の役割は大きい。そして**司書に期待**をしたい。**新施設への単なる移転とするのではなく、市民が何を求めているのか把握し、市民のための新しい図書館を始めるべきである。**

新施設に関し、米川のその他意見・要望

乳幼児健診において車で来館される方の利便性向上を！

中央公園駐車場（北グラウンドの地下）の利用を想定しているようだが、新施設までの動線が大変。かといって、新施設に近い市役所横の駐車場については、現状混み合うことが多いため、市役所や業務スーパー前に車の列ができることも考えられる。**年間144日実施され、1回あたり60～70人の乳幼児健診に来られる方の駐車場利用について十分に想定し、利用者の立場**でスムーズな動線を確保してもらいたい。

来館者数の想定と平日のにぎわいのイメージを！

先述の岩手県紫波町は、オガールプロジェクトという補助金に頼らない公民連携の地域活性化の取り組みをして、全国から視察が殺到しているまち（※）だが、12月の平日の日中に訪れたところ、広場には人がいなかった。このことから、本市の新施設、広場においても、**イベント時ではなく平日の日中（特に夏冬）のにぎわいをどうイメージしておくかが大事だと考える。**図書館が広場のイベントとコラボしたり、健診を担うこども健康センターが施設内のカフェと協力して、健診後のお茶しながらの相談を実施したり等、施設全体として事業展開をして、市民が訪れたくなる場所にしてもらいたい。

※盛岡駅から20分、紫波中央駅前の町有地10.7ヘクタールを中心に、ホテルやバレーボール専用体育館、図書館、カフェ、産直マルシェなどが入居する施設、広場などがある。来場者は年間100万人（2017年データ）。

福岡洋一市長と対談

これからの駅前再開発やコロナ対策について伺いました。

駅前再開発について。

Question 私は、昨年から、福祉だけでなく、**変化と期待感**をキーワードにまちづくり関係の質問を議会でさせていただいています。

今後、市長は阪急茨木市駅西口やJR茨木駅西口の再開発を進めていかれると思いますが、再開発にあたって何を大事にされたいのか、現時点のビジョンや想いはありますでしょうか？

Answer **中心市街地で大事なことは「エリア全体で考える」こと**です。全体のキーとなる旧市民会館跡地エリアのイメージが決まったこともあり、阪急茨木市駅西口の再開発をさらに進めます。なお、西口だけでなく**東口も同時に考えた結果、バス等の交通は、将来的には東口に集中**させます。さらに、隣接する**府営住宅跡地の双葉町駐車場には救急病院を誘致**します。茨木の南部地域の皆さまの暮らしを含めて考えた結果です。

全体を支える**コンセプトとしては、「女性目線でのまちづくり」**です。もっと女性目線を取り入れたまちづくりこそ、これからの茨木にマッチしますし、茨木らしさにつながると考えています。新たに茨木工場が完成する資生堂を巻き込んで、みなさまとともにスタイリッシュな「茨木暮らし」を作り上げたいです。

新型コロナ対策について。

Question 新型コロナウイルス感染拡大防止に関しては、2月末から国や大阪府の方針も踏まえながら、本市でも順次対応をされてきました。今後の対応や市民の皆さんにお伝えしたいことがありましたらお聞かせください

Answer パニックを恐れていましたが、市民の皆さまには冷静な対応をいただき感謝しています。**市では皆さまの相談ごと、心配ごとに応えるべくコールセンターを開設していますので、何でもお声がけください。**時にデマ・間違った情報が流れることもあり得ますので、**正しい情報の入手に努めてください。**皆さまで気持ちを一つに、粘り強く乗り切っていきましょう。

※3月12日時点